

1 計画の位置づけ

- 本計画は、本県におけるこれまでのスポーツ推進のための取り組みの成果や現状とともにスポーツ基本法及び国の「第2期スポーツ基本計画」の趣旨及び方向性を踏まえ、策定するもの
- また、県民の健康寿命の日本一達成を目指そうとする「なら健康長寿基本計画」の他、「奈良県教育振興大綱」、「奈良県高齢者福祉計画」、「奈良県障害者計画」における施策と整合を図りながら、県民のスポーツ推進のために取り組む内容を明らかにするもの
- 本計画は、市町村、学校、スポーツ関係団体、企業、地域など多様な主体が連携・協働し、県民全体でスポーツの推進に取り組む方向性を示したもの

2 計画の期間

平成25年度～34年度の10年間(策定5年後の平成29年度に見直し)

<見直しの観点>

- 現計画の基本理念や施策体系は踏襲しながら、新たにライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツの推進と、スポーツを通じた地域振興という観点で見直しを行う。



3 基本理念

【目指す姿】

『生き活きと安心して健やかに暮らせる健康長寿の奈良県』

【基本目標】

「だれもが、いつでも、どこでも気軽にスポーツに親しめる環境づくり」

4 施策体系

施策体系(6項目の基本戦略)

I ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツの推進

1. だれもがスポーツに親しめる地域スポーツの推進

- (1) 総合型地域スポーツクラブによる地域スポーツの推進
- (2) ライフスタイルに応じたスポーツの推進
- (3) 障害者スポーツの推進
- (4) スポーツを支える環境づくり

2. 子どもを健やかに育むスポーツの推進

- (1) 幼児期のスポーツ(運動・遊び)の推進
- (2) 子どもの体力向上方策の推進
- (3) 子どものスポーツ活動環境の充実

3. 県民に夢と感動を与える競技スポーツの推進

- (1) 競技力の向上
- (2) トップアスリート等との連携によるスポーツの推進
- (3) プロスポーツなどの観戦の機会づくり

4. スポーツ施設の整備・活用

- (1) 県内スポーツ施設の整備・運営の検討・推進
- (2) 身近な公共施設等の整備・活用
- (3) 既存施設の中長期的なファシリティマネジメントの推進

II スポーツを通じた地域振興

1. スポーツによる地域のにぎわいづくり

- (1) 参加型スポーツイベントの実施
- (2) スポーツツーリズムの推進

2. 東京オリンピック・パラリンピック等を契機としたスポーツによる国際交流の促進

- (1) キャンプ地招致等
- (2) キャンプ地招致等によるスポーツ振興及び交流促進

I ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツの推進

1. だれもがスポーツに親しめる地域スポーツの推進

年齢や性別、障害の有無などに関わらず、すべての県民がスポーツをしたい時に気軽に行うことができるよう、様々なライフスタイルに応じたスポーツ活動の受け皿として地域スポーツの推進に取り組む。

- (1) 総合型地域スポーツクラブによる地域スポーツの推進
 - ① 総合型地域スポーツクラブの活動の質的充実
 - ② 総合型地域スポーツクラブへの支援体制の強化
- (2) ライフスタイルに応じたスポーツの推進
 - ① ビジネスパーソンなどのスポーツの推進
 - ② 女性がスポーツに取り組みやすい環境づくり
 - ③ 子育て世代のスポーツの推進
 - ④ 高齢者のスポーツの推進
- (3) 障害者スポーツの推進
 - ① スポーツに取り組む機会(参加する機会)の充実
 - ② 障害のある人とない人が交流できる取組みの推進
 - ③ 身近な地域でスポーツができる環境づくりの推進
 - ④ 障害者スポーツ指導者等の養成
- (4) スポーツを支える環境づくり
 - ① スポーツ指導者、マネジメント人材の確保、養成
 - ② スポーツイベントや施設情報等に関する情報発信力の強化
 - ③ スポーツ顕彰制度の整備
 - ④ スポーツボランティア人材の育成

| 指標名 | 当初計画時 (平成24年度) | 現状 (平成28年度) | 目標 (平成34年度) |
|----------------------------------|-------------------|----------------------|----------------------|
| ○総合型地域スポーツクラブの会員数 | 10,355人 | 13,814人 [35,500人] | 20,000人 [70,000人] |
| ●法人格を有する総合型地域スポーツクラブの割合 | 28.6% | 41.3% | 70% |
| ○スポーツイベントの参加者数 (総合型交流大会) | 1,149人 | 3,806人 [5,000人] | 10,000人 [10,000人] |
| ●障害者スポーツ大会における参加者数 | 1,060人 | 1,126人(H29) | 1,170人(H31) |
| ●障害者スポーツ指導者数 (日本障がい者スポーツ協会公認) | 223人(H23) | 214人(H29) | 300人 |

赤文字は今回追加指標。各欄下段[]数値は、当初計画時目標数値

2. 子どもを健やかに育むスポーツの推進

子どもたちが、楽しみながら身体を動かすことで基礎体力向上を図るとともに、スポーツを通して相手を思いやることや、ルールを守ることなどを学び、健全な心身の発達と人格形成を促し、未来を担う“ひと”づくりを目指す。

- (1) 幼児期のスポーツ(運動・遊び)の推進
 - ① 幼稚園・保育園でのスポーツの推進
 - ② 地域・家庭でのスポーツの推進
 - ③ スポーツ医・科学の活用
- (2) 子どもの体力向上方策の推進
 - ① 学校体育・健康教育の充実
 - ② 学校運動部活動・地域運動部活動の充実
- (3) 子どものスポーツ活動環境の充実
 - ① 子どもにスポーツの楽しさを伝える指導者の育成・確保
 - ② ファミリーでスポーツに親しむ機会づくり

| 指標名 | | 当初計画時 (平成24年度) | 現状 (平成28年度) | 目標 (平成34年度) |
|------------------------|-------|--|--|----------------|
| ○1日の総運動時間が 60分以上の割合 | 小学5年生 | 45% | 41.0% [50%] | 55% [55%] |
| | 中学2年生 | 67% | 69.7% [70%] | 75% [75%] |
| ●子どもの体力合計点 (※) | 小学5年生 | 男子: 54.81点 (54.07点) 女子: 55.14点 (54.85点) | 男子: 53.57点 (53.92点) 女子: 55.00点 (55.54点) | 全国平均以上 |
| | 中学2年生 | 男子: 40.20点 (42.32点) 女子: 46.48点 (48.72点) | 男子: 43.11点 (42.13点) 女子: 49.51点 (49.56点) | 全国平均以上 |

(※) 平成28年度の()数値は全国平均

赤文字は今回追加指標。各欄下段[]数値は、当初計画時目標数値

I ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツの推進

3. 県民に夢と感動を与える競技スポーツの推進

競技力の向上とともに、プロスポーツなどの観戦の機会づくりにより、未来を担う子どもをはじめ、多くの人々がスポーツへの夢やあこがれをもち、勇気・感動を与えられるスポーツの推進を目指す。

(1) 競技力の向上

- ① 選手・指導者等の発掘・育成強化に関する支援
- ② スポーツ医・科学等を活用したサポート体制の整備
- ③ パラスポーツにおける競技力向上

(2) トップアスリート等との連携によるスポーツの推進

- ① トップアスリートを活用したスポーツイベントの実施
- ② 企業、大学等が有する人材の活用

(3) プロスポーツなどの観戦の機会づくり

- ① プロスポーツなどの試合誘致
- ② 地域、企業等との連携による支援体制の検討

| 指標名 | 当初計画時 (平成24年度) | 現状 (平成28年度) | 目標 (平成34年度) |
|----------------------|-------------------|----------------------|--------------------|
| ○スポーツ指導者数(日本体育協会公認) | 2,751人 | 2,203人 [3,200人] | 4,000人 [4,000人] |
| ○国体の総合成績 | 35位 | 19位(H29) [30位台前半] | 20位台定着 [20位台] |
| ○プロスポーツ等の試合数(有料観戦) | 5試合 | 44試合 [30試合] | 60試合 [60試合] |
| ●全国大会1位の奈良県選手の人数・団体数 | — | 57件 | 80件 |

赤字は今回追加指標。各欄下段[]数値は、当初計画時目標数値

4. スポーツ施設の整備・活用

既存施設の機能の充実、有効活用、また新たなスポーツ施設の整備を検討することで、すべての県民が、いつでも、どこでも様々なスポーツを楽しめる環境づくりを目指す。

(1) 県内スポーツ施設の整備・運営の検討・推進

- ① 全国規模の大会開催を視野に入れた拠点施設整備方針の検討・推進
- ② 民間活力の積極的な活用の検討・推進
- ③ 新たなスポーツ施設の研究

(2) 身近な公共施設等の整備・活用

- ① オープンスペースの活用等まち中でのスポーツ環境の整備
- ② 学校体育施設等の活用

(3) 既存施設の中長期的なファシリティマネジメントの推進

- ① 既存施設の機能向上、長寿命化の促進
- ② スポーツ施設のユニバーサルデザイン化の促進

| 指標名 | 当初計画時 (平成24年度) | 現状 (平成28年度) | 目標 (平成34年度) |
|------------------|-------------------|----------------|----------------|
| ●榎原公苑年間利用者数 | 301,330人 | 308,893人 | 330,000人 |
| ●まほろば健康パーク年間利用者数 | — | 303,290人 | 330,000人 |

赤字は今回追加指標。

Ⅱ スポーツを通じた地域振興

1. スポーツによる地域のにぎわいづくり

参加型スポーツイベントの開催や、スポーツツーリズムの展開を通じた、地域への誘客促進、地域間交流による地域の活性化を目指す。

(1) 参加型スポーツイベントの実施

- ① 季節に応じたスポーツイベント等の展開
- ② 自然、地勢、景観等、奈良の特性を活かしたスポーツの推進

(2) スポーツツーリズムの推進

- ① スポーツイベントを活かした滞在型観光の促進
- ② 南部地域、東部地域の特色を活かしたスポーツイベントの展開
- ③ スポーツ合宿の誘致
- ④ スポーツイベント等による海外からの誘客促進
- ⑤ サイクリングなど周遊型観光ルート・スポットの活用

| 指標名 | 当初計画時 (平成24年度) | 現状 (平成28年度) | 目標 (平成34年度) |
|------------------------|-------------------|----------------|----------------|
| ●スポーツ合宿でスイムピア奈良を利用する人数 | — | 2,179人(H27) | 3,000人 |

2. 東京オリンピック・パラリンピック等を契機としたスポーツによる国際交流の促進

2019年のラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ、強化合宿の招致を行い、スポーツを通じた継続的な国際交流を促進する。

(1) キャンプ地招致等

- ① 国際競技大会の事前キャンプや強化合宿の継続的な受入

(2) キャンプ地招致等によるスポーツ振興及び交流促進

- ① スポーツ交流等を通じた県内ジュニア選手の育成
- ② スポーツ交流等を通じた友好交流の促進
- ③ マスメディア、ソーシャルメディア(SNSなど)を活用した奈良の魅力発信

計画の進行管理体制の構築

「奈良県スポーツ推進協議会」の設置・運営

県、市町村、総合型地域スポーツクラブ等が連携し、計画実践の推進力となる、「奈良県スポーツ推進協議会」を設置・運営

○ 構成員 県、市町村、総合型地域スポーツクラブ、有識者

- 内 容
- ① スポーツ推進計画に基づく、課題解決に向けた実践活動について情報共有、実践案の検討を実施
 - ② 総合型地域スポーツクラブで主にクラブマネジメントを担う人材を中心にワークショップを開催し、新規事業を企画立案
 - ③ 総合型地域スポーツクラブ等の先進的な取組を表彰し、県内への拡大を図る